

日独共同シンポジウム



目で見る
海外論文発表

Biotechnology and Chemistry for Green Growthに参加して

白瀬 賢*

Science fields interactions
through the Osaka-Aachen Joint Symposium - *Biotechnology and Chemistry for Green Growth*

Key Words : biochemistry, chemistry, interaction

<参加会議名>

18th Osaka-Aachen Joint Symposium -
Biotechnology and Chemistry for Green Growth

<開催場所> Aachen, Germany

<渡航期間> 2018/11/25 - 11/30

<発表タイトル>

Triphenylborane Catalyzed Chemoselective
Reduction of Tertiary Amides to Amines

本会議は、大阪大学とアーヘン工科大学がJSPSの支援を受けて共催する国際会議であり、生物化学分野と有機化学分野の若手研究者が互いの領域に関して知見を深めるとともに、国際交流を図る目的で開催されています。今回私は、ドイツ・アーヘンで開催された、最終回となる第18回会議に参加しました。私は、有機化学を専門としており、ホウ素触媒を用いたアミド化合物の化学選択的な還元反応について発表しました。普段参加している会議とは異なり、有機化学分野の専門知識を持った方だけでなく、生物化学を専攻する方々の異なる視点からの意見を多く頂くことができたことが大きな収穫でした。また、普段の会議よりも coffee break の時間が長く設けられていたおかげで、アーヘン工科大学から参

加している学生や、生物化学分野の学生達と、研究や普段の生活についてじっくりと話し、友達を作ることができました。同世代の研究者との強いつながりを作ることは、研究の間口を広げるとともに、自身のモチベーションを高めるためにも重要なことであると感じました。

最後になりましたが、本論文発表にあたり、経済的支援を頂きました生産技術関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



ポスター発表の様子



アーヘン工科大学の研究者との写真



懇親会の様子



クリスマスマーケットのホットワイン売り場



* Satoru SHIRASE

1992年5月生まれ
大阪大学基礎工学研究科物質創成専攻
(2017年)
現在、大阪大学基礎工学研究科
物質創成専攻 真島研究室
博士後期課程学生2年 日本学術振興会
特別研究員DC2 修士(理学)
有機金属化学
TEL : 06-6850-6248
FAX : 06-6850-6249
E-mail :
shirase@organomet.chem.es.osaka-u.ac.jp